



道路際の除草した後

その他の質問項目
■フレジャーボート等の係留対応
■半島振興法 ■特定空き家対策

道路管理の点検をしっかりと！
永崎議員 ①道路脇の除草などの美化活動を行う団体と契約して景観形成に努めるアドプト制度を市として取り入れる考えはないのか。②市道の安全性のチェックの一つとして、市道はほとんどアスファルト舗装が主流で、修繕にはオーパレイ(※1)やパッチング(※2)などがあるが、どのような判断基準で対応しているのか。また、除草対応で、沿線住民や町会などに積極的に協力してもらおう取り組みはあるのか。
清田建設部長 ①石川県ではアドプト制度を取り入れているが、市としては幹線道路の除草は業務委託、その他の道路管理は町会に道路愛護事業というところで原則お願いしており、町会に年一回活動の報奨金を支払っている状況。②パトロールなどの結果を踏まえ、破損状況を確認し、ひび割れ率が40%を超える区間は舗装の打ちかえ、オーパレイを順次実施。パッチングの補修は明確な基準がなく、パトロールや町会の要望などで現地確認し、安全確保に支障があると判断した場合、実施している状況である。また、除草については、町会等の協力は不可欠で、道路愛護事業でお願いしている。今後は地域づくり協議会でも対応が出来るか、財政支援も含めて検討する。

※1 オーパレイ …コンクリート舗装の上に3cm以上の厚さでアスファルト混合物を舗装する修繕工事
※2 パッチング …路面に生じたひび割れ部分にアスファルト混合物などで穴埋めしたりすること



能越自動車道

その他の質問項目
■農地圃場整備
■安心安全な地域づくり

七尾・田鶴浜間の早期事業化を！
杉木議員 能越自動車道七尾氷見道路が全線開通し、今年のG・Wの交通量は昨年より倍増、お盆も約8割増。北陸新幹線開業も相まって、能登地域全体の観光振興に大きく貢献している。しかし、田鶴浜から七尾インター間が未事業のため、非常に不便。この区間が出来ると観光面でももちろん、大呑地区や徳田地区までの救急車や消防車の移動が速くなり、能登病院へのアクセスも良くなる。七尾市にとって、この区間の事業化を国に対してしっかりと要望していただきたいが、市長の考えを伺う。
不嶋市長 七尾インターや城山インターで降りると市内には数多く信号機が設置されていることで、能登きつての関所が出来たと行われている。この区間の事業化に向けて、7月に経済界や議会、町会などとともに要望活動で国交省へ出向いた。この区間が整備されることで、七尾に限らず能登全体に能越自動車道の波及効果が生まれ、観光による移動や救急車などの時間短縮にもなり、その効果は一目瞭然だと訴えてきた。石川県にもオール能登のプロジェクトとしての後押しをお願いしている。年度末に国の予算編成もあり、あともう一押しということなので、再度要望活動したいと思っている。



電話する様子

その他の質問項目
■七尾城跡

特殊詐欺被害の具体的な防止策は!?
木下議員 全国的に特殊詐欺被害が増え、昨年の年間被害額は565億5千万円となり、過去最高。石川県は昨年、4億円近くの被害、七尾市は8件で520万円ほど。今年の市内での被害はどれくらいなのか。また、65歳以上の割合が高く特に女性の被害が多いようだが、七尾市ではどのような対策をしているのか。その対策の一つとして、通話録音機が全国的に増え、効果も出てきていると聞いている。県内では、小松市が貸し出しを始めた。七尾市として今後の具体的な取り組みの考えはあるのか。
前田市民生活部長 今年の市内の被害は、7月現在で8件の1,650万円。市では、警察署や七尾鹿島防犯協会と連携して、振り込め詐欺の防犯講習をしたり、金融機関や配送事業者などに対して店頭での声掛けやポスター掲示などしたりして、特殊詐欺被害の撲滅に向けて取り組んでいる。今後は、通話録音機が被害防止に大変効果があると聞いているので、その設置に向けて先進地の状況なども確認しながら検討していく。



万行土地区画整理事業

その他の質問項目
■無戸籍者の対応 ■マイナンバー制度
■マダニ対策

早期の保留地処分を 目指せ！
山崎議員 もともと平成22年度完了予定だった万行土地区画整理事業は、経済状況などにより保留地処分・事業完了が達成できない見通しで、今年度まで計画延長されていた。①この事業の現状について、行政の認識は。②組織のスリム化や保留地処分の迅速化を進めるうえで、組合に対して行政としての指導体制は。③事業延長の場合、今後は具体的に事業完了、組合解散に向けた工程について、行政として指導や支援などで関わる必要があると思うが、どのように考えるのか。
清田建設部長 ①保留地の販売不振により事業費が確保できないことが事業完了できない最大の原因。販売価格も周辺地と格差がある。今後は支出の削減を進め、他の宅地販売価格と競争できる水準にしたうえで保留地販売の努力が必要。②組合の役員定数は、現在理事20名から13名に。事業の進捗に応じた組織の適正化を図っている。組合の部会で増員しながら保留地の販売促進強化に向けて指導をしている。③事業確保に保留地販売は不可欠で、組合自身の自助努力も必須。現行の定住促進住宅取得奨励金などの制度の活用に加えて、企業訪問等を行い、組合と協力しながら販売促進に努めていく。



市内の空き家

その他の質問項目
■総合戦略の立案と実行のあり方
■ICT利活用

移住者に切れ目のない サポートを！
高橋議員 石川県や能登は魅力的な地域であることが全国的に浸透しつつも、具体的な提案がまだ十分ではなく、課題がある。そこで、総合的な移住者のニーズに対し、具体的な相談に乗ってくれるコーディネーターの配置が様々な自治体で行われており、移住を受け入れるために行政の枠を超えたサービス提供が求められている。七尾市も移住専門のコーディネーターを配置し、移住者に対し切れ目のないサポートや情報発信などを行い、様々なアプローチで人口減少対策の手立てを講じ、役割を担っていただきたいと考えるが、七尾市にコーディネーターを配置する考えはないのか。
岡野総務部長 移住希望者のサポートを一貫して行うためには、幅広い知識と豊富な人脈が必要。しかし、優れた人材の確保や継続的な財政負担といったことも課題としてある。現在は、移住前から移住後まで一貫してサポートできる民間団体がすでにあるため、そこを活用することによって移住希望者への対応に一義的に努めていきたい。



杉森久英記念文庫

その他の質問項目
■七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
■いしかわ文化振興条例
■家庭教育支援チーム

杉森久英氏をもっとPRせよ！
伊藤議員 先日、TBSテレビで毎週日曜日の放送「天皇の料理番」という番組が、高視聴率のうちに終了し、感動を与えた。この作品の原作者は、七尾市生まれの直木賞作家・杉森久英氏である。ファンの方や観光客に七尾市へ訪れてもらうためにも、また市民で知らない人もたくさんいるため、図書館のホームページなどで杉森久英氏の紹介コーナーを作ってみてはどうか。また、寄付いただいた杉森久英記念文庫は現在どこに保存されているのか。この機会に、図書館に紹介コーナーを作って作品を並べてみてはどうか。
近江教育長 図書館のホームページは、蔵書検索や予約できるもので、杉森久英記念文庫の紹介はしているが、個人を紹介するスペースはない。今後は、杉森久英氏を研究する市民団体の研究成果など取りまとめたものを市のホームページとリンクさせて発信していきたい。また、記念文庫は現在、旧有隣保育園で遺品の日記や取材ノートなどを収蔵し、書斎の一部を復元しながら展示している。中央図書館ではドラマ放映にあわせ著書や遺品などを特別展示した。今後は調査研究を重ね、皆さんに知っていただく機会を作っていく。